

# 市 政 報 告

神戸市会議員  
(須磨区)

## 松本しゅうじ (周二)

🌸 ごあいさつ 🌸

皆様におかれましては、お元気でお過ごしのことと存じます。平素よりご厚情を頂き心より感謝申し上げます。

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、国民、市民の安全安心が脅かされ全都道府県を対象にした緊急事態宣言が発令されるなど、感染拡大防止に向けた様々な緊急対応施策が実施され感染症対策としては、検査態勢の充実・ワクチン・治療薬の開発・確保など、引き続き第二波・第三波を含めた先行き不透明な世界的パンデミックの危機的状況のなか、経済や医療体制への影響も懸念され、あらゆる分野での不安が蔓延しております。

人口減少・少子超高齢化社会での人生100年時代の社会保障制度、介護の充実、幼児教育・保育の完全無償化、国の補正予算による、市内事業者への資金繰り支援、PCR検査の拡大など課題山積となっております。

さて、令和2年第1回定例会市会6月議会が開催され、企業建設委員会から経済港湾委員会に所属し、港湾局・経済観光局・文化スポーツ局を担当します。市会ではすでに国の新型コロナウイルス感染症対策補正予算第一次・第二次を受け、神戸市各会計補正予算を可決しました。

この度の新型コロナウイルス感染拡大防止に最前線で活躍を頂いている医療従事者の皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。第一次補正予算25兆6914億円・第二次補正予算は32兆円となり、国民一人あたり10万円の給付金・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（市の補正予算規模は1624億900万円・第2弾補正予算は112億3000万円でコロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金33億3400万円）となっております。

神戸市の感染症拡大防止対策・PCR検査体制の強化、発熱外来による自宅待機の在り方、陽性患者への早期入院対策、中央市民病院をはじめとする救急医療現場への防護服・マスク等々の配布を要望すると共に介護施設や保育所への安全対策に取り組んで参りました。又、神戸港関連企業をはじめ地場産業・商業・農水産業等々の事業者への支援金や減免施策、融資制度の活用等々急務となっております。

そうした中で神戸港湾関連会社の代表者様と共に、医療分野で不足しております貴重な防護服やマスクを大量に神戸市（副市長）に寄贈して参りました。民間事業者の心強いご協力に心から感謝申し上げます。

又、外出自粛による市民のストレス解消としての須磨海岸へのウォーキング等々も多くなる中、クラスター感染防止コロナ対策を呼びかけるよう神戸市当局に拡声器の早期設置を強く要望し、5月連休前の設置を実施して参りました。

今後も幅広いポストコロナ時代、国内（神戸）へのサプライチェーン誘致策、神戸経済における事業の継続と雇用を守ること、セーフティーネットの強化等々、終息に向けた新型コロナワクチンが出来るまでの間、国の緊急対策と神戸市独自のコロナ対策を合わせた官民一体での取り組みが一層重要課題となっております。こうした難局に向け住民主体の市政で鋭意取り組んで参ります。

<ご家族皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。>

自民党兵庫県連地方行政対策副委員長  
自民党神戸市連組織広報委員長

神戸市会議員（自民党） **松本 しゅうじ** (周二)



(市会より議員活動 25 年表彰される)  
阪神淡路大震災時に初当選・以来 25 年間の議会活動について表彰される。

- 現・経済港湾委員会委員
- 兵庫県軟式野球連盟副会長
- 神戸軟式野球協会会長
- 神戸市スポーツ協会評議員
- 法務省・須磨区保護司会監事
- 神戸市茶花道会顧問
- 法務大臣表彰受賞
- 兵庫県自治功労者表彰
- 神戸市スポーツ功労者表彰
- その他

### 《新型コロナウイルス感染拡大防止対策の活動より(抜粋)》



〈神戸市立医療センター中央市民病院に活用される〉

防護服 & マスクを中央港運（株）代表取締役隅田会長さんと共に（当時）神戸市岡口副市長さんに寄贈（合計4万枚）する松本市議



〈コロナ禍で命がけて頑張る医療従事者を激励する松本市議〉

神戸市立医療センター中央市民病院の医療従事者（看護部長さん・看護師長さん）の皆さんに千羽鶴三千羽（一枚一枚に応援メッセージ）を贈呈し激励する女子大学生の皆さんと松本市議



〈須磨海岸における市民の安全（感染拡大防止）対策に取り組む〉

危機管理監にスピーカーによる感染予防の為の設置を要望し、早期に実施した

ご相談・問い合わせ先

■事務所 〒654-0049 神戸市須磨区若宮町3-2-2 TEL (078) 795-9069 FAX (078) 795-9090

神戸市会議員 **松本 しゅうじ** (周二)

最近他都市で自動車免許取得によりまして合宿するのに使えたり、マリンスポーツのライセンス取得に使ったり、両方ともがウィン・ウィンになるようなことをやっています。神戸でも船舶免許の講習とかいろいろな事業者とタイアップして事業をやると、集客効果も経済効果もあり、若い人向けというのでも出てくるんじゃないかと思うんですが、こういった対応についての取組を聞きたい。

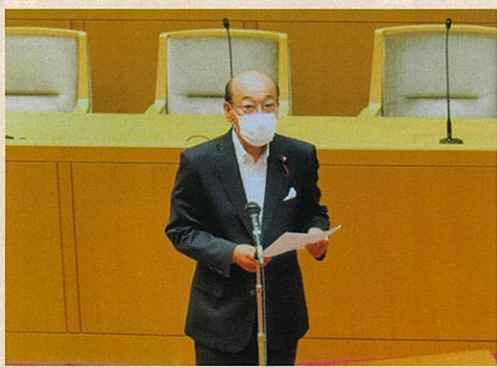
## グローバル時代の英語教育について

**質** まず、グローバル社会に対応できる英語教育についてお伺いします。日本人の平均的な英語レベルはアジア29か国中26位という指標があります。この原因は、多分に受験英語を重視したこと、加えて日常英会話などのコミュニケーションを重視するところ、加えて英語が教科化されてきています。今年度からは小学校において英語が教科化されていますが、本市においても、コミュニケーションを重視した授業を行っているところですが、他国と比べると中国では1週間の英語授業数は、週に4回以上、韓国が週に3回以上、台湾は週に2回以上と、今の日本の英語教育の状況は大変遅れており大変低い水準になっております。

**再質問** そこで、実際に今の状況で話す力が身に付くのかというのをまずお伺いします。それから小学校における配置拡充しようとしておりますALTですが、中学校では拡充する予算は組まれておりません。コミュニケーションはどのようにしていくのか、お伺いを致します。

**質** もう一つは、神戸は国際都市ということから、英語塾に行かなくても英語が話せるようになればと考えています。実践的で質の高い英語の授業を行うということは、子育て世代に対して有効なPRとなり子育て支援や人口増対策にも影響する

令和元年度の本市の一般会計決算は、社会保障関係費が増加した一方で、所得の増加などに伴う個人市民税の増や「神戸市行財政改革2020」に基づく取り組みを着実に進めたことにより、13億2100万円の実質黒字を確保しており、企業会計においては、約78億円の黒字を計上しており、本市の財政対応力も着実に回復していますが、新型コロナウイルスによる感染症拡大防止対策をはじめ、豪雨災害や台風



本会議場にて意見表明する松本市議

など自然災害が相次ぎ今後も余談を許さない財政状況となっています。今後とも人口減少・少子超高齢化社会でのグローバルな都市間競争に対応できる都市として、ウィズコロナ時代に対応出来る施策と将来的な成長戦略に期待し、本決算を認定します。

と期待します。今後どのようなビジョンを持って、小学校、中学校の英語教育に取り組んでいくのかお伺いをします。

## 英語教育関係者からのご質問

**質** 英語教育の関心はありますが、やはりこのグローバルな人材を育成するために、外国の人に対しても積極的に話すことができる実践的なコミュニケーション能力の向上・育成が最も大切でございませぬ。

**再質問** 一方で、中学校のほうでは、年間140時間の英語授業を行っております。まだまだ、これは少ないんじゃないかというお話だと思っております。そのうち、週に1回以上はALTとの共同授業を実施してコミュニケーション活動を中心とした授業に現在取り組んでおります。

**再質問** 今後は、授業改善をやはり進めていかないとはいけないうと、回数の問題もありませんが、質の問題もあろうかと思っております。そういったと、実践的なコミュニケーション力を高めたいと考えております。

**再質問** 具体的に申し上げますと、全国調査の結果から、やはり即興的なやり取りが苦手である、これは日本国民全部がそうかも知れませんが、そういう傾向が明らかになっておりますので、例えば、これからGIGAスクール構想の1人1台の端末を活用して、動画によるスピーチに対して、それを見た生徒が即興的に英語で、例えば感想を述べるとか、そういうことで活動を活性化していきたいと考えております。

**再質問** 本市の英語教育という、ビジョン的なことでございますが、これまでグローバル社会で活躍するための力として、1つはコミュニケーション力、もう1つは共生する力、3つ目はチャレンジする力、この3つの力を設定をして、その育成に取り組んできたところでございます。それとともに、そういったことが達成できるように、例えば小学生では英語に親しむ神戸の小学生、中学生は英語が話せる神戸の中学生、高校生は英語が使える神戸の高校生というように、発達段階に応じた目標を定めて、英語教育の充実を図ってきたところでございます。今後は、これらの取組を発展させまして、質の高い英語教育を行うことで、本市が子育て世代に選ばれるまちとなるように、一層努力を重ねていきたいというふうに考えております。

**再質問** 小学校で充実していくということなんですが、ALT1対1という話と、中学校になら1対40時間という話ね、これはもう使えるのは、骨格のことから思うと、本当は幼稚園保育所ぐらいからですよ。我々も片言英語で通じますが、現在の小学校の英語授業は、たったの35時間ですらね、親むどころか、とりあえず経験したぐらいになるのかなと思っております。授業の改善ということで、質の向上というのは大変なことだと思っております。しかし、ビジョンの話は「コミュニケーション力、共生、チャレンジ」と、小・中・高それぞれに当てはめていってほしいなというふうに思います。そこで再質問したいんですが、まず、この文科省の学習指導要領で、小学校5年、6年間で年間35時間となっておりませんが、神戸市独自で神戸方式と英語授業数を増加させるということが出来ないのか、何回も、以前からも本会議で申し上げてきたんですが、ここに来てようやく文科省を含めて、国挙げて力を入れてきていますので、神戸市独自のそういったものはできないのか、まずお伺いします。

**再質問** 山下総合教育センター所長

**再質問** 授業時間数でございますけれども、現在、実は3年生、4年生が35コマ、週1コマ、5、6年生が70コマになってございまして、それに加えて、神戸市におきましては、小学校1、2年生についても独自の取組を進めてまいらうと、現在準備を進めているところでございます。

**再質問** 国際都市神戸から世界で活躍する子供を育成してもらいたい、これが1つですね。

**再質問** 国際都市神戸から世界で活躍する子供を育成してもらいたい、これが1つですね。

**再質問** 国際都市神戸から世界で活躍する子供を育成してもらいたい、これが1つですね。

**再質問** 国際都市神戸から世界で活躍する子供を育成してもらいたい、これが1つですね。

**再質問** 国際都市神戸から世界で活躍する子供を育成してもらいたい、これが1つですね。

**再質問** 国際都市神戸から世界で活躍する子供を育成してもらいたい、これが1つですね。

**再質問** 国際都市神戸から世界で活躍する子供を育成してもらいたい、これが1つですね。

**再質問** 国際都市神戸から世界で活躍する子供を育成してもらいたい、これが1つですね。

**再質問** 国際都市神戸から世界で活躍する子供を育成してもらいたい、これが1つですね。

**再質問** 国際都市神戸から世界で活躍する子供を育成してもらいたい、これが1つですね。

**再質問** 国際都市神戸から世界で活躍する子供を育成してもらいたい、これが1つですね。

それから、英語教育の神戸方式というようにすることを考えて、せめて中国、韓国に劣らない授業数を確保してもらいたいというのが2つ目。

3つ目は、一層の英会話教育(話せる英語)の推進を図りたい。

## 青少年スポーツ支援について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、青少年のスポーツ活動や発表の場が失われている。現在、神戸市では、中学や高校の部活動の大会利用では50%の使用料減免を行っているが、例えば、札幌市のスポーツ施設の使用料金は、中学生以下の個人利用は無料となっている。

Withコロナ時代においても青少年へのスポーツ振興や競技力の向上を図るため、神戸市でも青少年の使用料を無料にするなど、使用料の減免を拡大すべきと考えざるがどうか。

**再質問** 文化スポーツ局岡田局長

**再質問** 体育館使用料の減免は、神戸市立体育施設条例等の規定により、部活動については50%減額を適用しているところである。施設の利用方法は「大会利用」だけでなく、「チーム利用」や「個人利用」があるが、神戸市では、条例で「一般の利用」と「幼児、小学生、中学生及び高校生」の区分を設け、個人利用では一般利用に比べて最大25%の減額を行っており、チーム利用については最大50%の減額を行っているところである。一方、札幌市では、個人利用の減額は行っていないもの、チーム利用については減額していないもの、他都市の基準は様々であり、今後も引き続き研究してまいりたい。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

**再質問** 他都市が50%減免であれば、神戸市は60%減免を行うなど、支援の拡大を再度検討するなど、青少年支援に一層取り組まれます。

## 名谷図書館について

**再質問** 利便性の高い大丸須磨店の4階に新設されることから、買い物や飲食にあわせて図書館を利用していただけるなど、更なる市民サービスの向上に期待している。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が視野を広げる為にも、長時間座席を広く固定を防止するなど、多くの文化・ニュースステーションとするべきと考えている。

**再質問** そこで、市民のニーズやライフスタイルが多様化する中、どのような図書館サービスを提供する予定なのか伺いたい。

**再質問** 岡田中央図書館長

**再質問** 大丸須磨店に入る図書館ということですが、これまでにない特色あるサービスを考えている。学生や社会人の多くの方が利用されることから、学習、学びの支援として、個人用PCやパソコン仕様のテーブル席、グループ学習可能な部屋、ソファ席など、多様な座席を120席から130席用意する予定である。また、より効率的に利用していただくため市民図書館で初めて、座席予約システムの導入を考えている。

**再質問** 座席予約システムを導入することにより、利便性の向上につながるかと考えているが、電話での予約も対応できないのか。

**再質問** 岡田中央図書館長

**再質問** 座席予約システムを導入することにより、利便性の向上につながるかと考えているが、電話での予約も対応できないのか。

**再質問** 座席予約システムを導入することにより、利便性の向上につながるかと考えているが、電話での予約も対応できないのか。

## <名谷図書館 来春3月24日開館予定!>



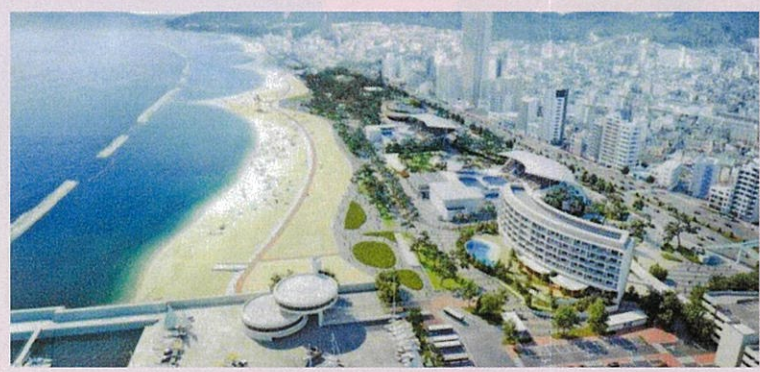
休館日：毎週火曜日と第1月曜日  
一部予約制

名谷図書館完成図と内部見取り図



コロナ禍での区内行政と今後の対応について片山須磨区長さんと意見交換する松本市議

## <須磨海浜水族園・海浜公園の再整備>



須磨海浜水族園・海浜公園再整備

### 経緯と目的

神戸市立須磨海浜水族園は、市民の教養とレクリエーションの場として大きな役割を果たしてきましたが、設備をはじめとする老朽化が進んでおり、今後これまでに以上の集客を図るためには、抜本的な再整備による魅力向上が必要です。

また、須磨海浜水族園が立地する海浜公園は、昭和60年代から変わってならず、必ずしも市民ニーズを満たしているとは言えない状況であり、都市公園もこれからは「公園をどう使うか」が求められています。このような状況を踏まえ、再整備にあたっては、子育て支援・健康づくりや交流人口の増加など市の施策を実現するためにも、これまでの市民利用を継続させつつ、水族園及び海浜公園のポテンシャルを活かした再整備を行うことにより、須磨海浜公園エリア全体の魅力を向上させることを目的としています。



株式会社サンケイビル代表者から再整備について聴取する松本市議（市役所にて）



# 《活動の中から》 住民主体の多くの声を必ず市政に反映します。



**森法務大臣に要望する松本市議（法務大臣室にて）**  
刑務所、少年院における広汎性発達障害者（自閉症等）入所者への診断・治療への支援体制を整える事・再犯防止を支える協力雇用主への支援等々を要望した

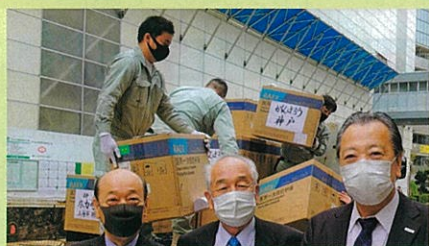


**がん患者への支援策・マギーズ東京を視察**  
がん患者や家族・友人の皆さんが孤独感や悩みを気軽に安心して相談できる場所全国各地や海外から延べ20000人が来訪され、看護師、心理士が対応されています。神戸市への誘致も視野に取り組む松本市議



**神戸ブランド推進について**  
神戸ワイナリー（農業公園）の現況と今後の展開を神戸みりのの公社長沢理事長さんから聞く。民間事業者の皆さんと視察する松本市議

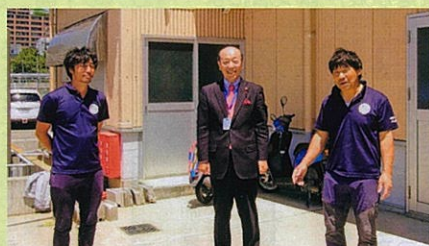
## ＜コロナ感染拡大防止対策として活動する松本市議・一部抜粋＞



不足していた防護服やマスクを市役所（岡口副市長さん）に届ける隅田会長（中）さんと松本市議 \*荷台の箱には「がんばろう神戸」



岡口副市長室でマスクを寄付する（株）ウシオ牛尾代表取締役と共に意見交換する



須磨浦漁業組合の森本組合長さんからコロナによる影響と支援策を聴く（組合事務所前にて）



板宿商業連合会の武貞社長さんを訪問・コロナでの営業被害の実態を聴く（板宿開発事務所にて）

## ＜介護テレワークロボット活用＞



分身ロボット・orihime を査察（兵庫県立リハビリテーション・福祉のまちづくり研究所にて）入院患者・障害者就労支援・テレワーク・遠隔教育等々様々な分野で活用出来る分身ロボットに期待しています。（左）伊藤県議、（中）松本市議、（右）谷口県議



**一般社団法人日本 ALS 協会理事 酒井ひとみ様**  
2007年に ALS を発症し、人工呼吸器をつけている酒井さんは自分で発話することができないため、意思伝達装置を使ってコミュニケーションを行っています。体が不自由な方でもワンクリックや視線で操作ができる OriHime eye と OriHime を使って家の中を自由に見回したり、家族との会話を楽しんだり、自宅にいながら都内で開かれる ALS 協会の座談会に参加するなど、充実した毎日を送っています。



**株式会社リバネス シンガポール子会社社長 徳江紀子様**  
この会社では、シンガポール子会社を経営する徳江さんが OriHime を使って東京本社に毎日出勤しています。OriHime を使うことで、本社の社長や社員たちと気軽に相談をしたり、通りすがりに話しかけたりと、あたかも東京にいるような感覚で仕事をすることができ、距離を感じさせないチームワークを実現しています。

## ＜経済・港湾局常任委員会で視察する松本市議＞



民間活用による須磨ヨットハーバーの今後の展望について視察する辻港湾局長と共に



指定管理者のヤマハ藤田社長さん所有の大型クルーザーに乗船し須磨沖海上の現況を視察する

## ＜マリニアカデミーの視察＞



神戸海洋クラブとしてスタート・海洋スポーツを活用した青少年育成の海洋教育や親子プログラム（マリニアカデミー）の活動を視察。藤田理事長・藤本副理事長さんから須磨ヨット北ハーバーの利活用について聴く松本市議

## ＜コロナ禍での青少年育成活動に取り組む＞



兵庫県中学校軟式野球新人大会で優勝チームに優勝旗を授与する兵庫県軟式野球連盟副会長の松本市議（田園スポーツ公園本球場にて）



決勝戦表彰式で兵庫県中学校体育連盟野球部の先生方と共に優勝・準優勝の選手を激励する松本市議



高宮宮賜杯全日本学童軟式野球大会神戸予選大会で優勝したチームに優勝旗を授与する兵庫県軟式野球連盟副会長の松本市議



兵庫県学童軟式野球大会・マクドナルドカップで優勝チームに優勝旗を授与する神戸軟式野球協会会長の松本市議

## ＜子供たちの安全対策に取り組む松本市議＞

園児をはじめ多くの子供達が無邪気に触る車止めは危険との要望を受け安全で子供たちとの調和のとれた柵（車止め）に変更する



くすのき保育園園長さんに新たな車止めの完成を報告する



幼児の安全性を重視した車止めの完成を確認する（愛称：ピコリーノ）



以前の不安定で安易な車止め

松本しゅうじ(周二) プロフィール



各地で市会報告をする松本しゅうじ市議

経歴	
近畿大学商経学部卒業	神戸市議会議員・七期連続当選
衆議院議員秘書 (公設第一秘書含む 17 年間)	神戸市監査委員
自治大臣秘書	港湾交通委員会委員長
国土庁長官秘書	文教経済委員会委員長
	福祉環境委員会委員長
	大都市税財政特別委員長
	自民党兵庫県連地方行政対策副委員長

現在の主な役職	
法務省須磨区保護司	兵庫県宅地建物取引業協会
神戸軟式野球協会会長	神戸西支部顧問
(社団法人)くすの木保育園理事	神戸市茶花道会顧問
神戸市スポーツ教育協会評議員	地元自治会顧問
近畿大学校友会常任幹事	地元防災福祉コミュニティ顧問
市)宮宮小学校同窓会役員	地元ふれまち協議会顧問
神戸・軟式少年野球部顧問	日本ケミカルシューズ工業組合相談役
兵庫県軟式野球連盟副会長	地元・市場商店街顧問
	その他顧問団体多数





本会議場で市長・副市長に質問する松本しゅうじ市議

はつらつ

自由民主党の無所属、松本しゅうじです。現在のコロナ禍にあつては、感染症拡大防止と市民生活や経済活動のバランスをいかに見極めるかが、大変重要と考へています。

今後とも感染拡大防止については厳しくなる中、適切な医療提供体制を確保し、新しい生活様式に対応するよう様々な取組を実施するとともに、市民の安全安心を守るための経済危機ともいわれ、市内事業者は大きな被害を受けていることから、引き続き事業者が寄り添った支援を行う、国の国際コンテナ戦略港湾をはじめ、みなと神戸の関連企業への支援による神戸港の港勢拡大を図るとともに街の賑わいづくりや観光施策への取組も一層重要となつてきており、強化されたいと存じます。

(仮称)マギーズ神戸の誘致について (がん患者の相談支援体制拡充)

今や2人に1人ががんになり、がんと共に生きる時代と言われ、治療とともに日々の暮らしや仕事など、両面からのサポートが必要となつております。また、がんの時期を問わず、診断された方も御家族も患者の友人でも、日常的に相談できるような支援が必要と考へています。

市では、中央市民病院や西神戸医療センター、また神戸大学病院等、市内6か所の病院の中にがん相談支援センターを設置して看護師や社会福祉職が治療に関すること、日常生活のこと、仕事や金銭面の負担のこと等について相談対応を行うほか、定期的な患者交流会も行ってっていると聞いております。

しかしながら、予約が必要であったり一回の相談時間が限られたり、患者も年に数回の開催であります。また、患者でなければ病院まで行くこともばかられます。患者家族ほかの様々なニーズの全てに応えることができないのではないかと存じます。

先般私は、マギーズ東京を視察して参りました。イギリスで発祥し、世界へ広まっているマギーズの国内唯一の施設で、認定NPO法人により運営されており、この建物は広いリビングや庭を配しており、がん患者やその家族をはじめ、がんに影響を受ける全ての人が気軽に立ち寄れるようにしてあり、時間に制約されることなくリラクゼーションができ、スタッフであります看護師や心理士等が話をじっくりと傾聴することでその人の気持ちが整理でき、自分なりの解決策を見出すことにつながっていると説明をいただきました。

そこで、病院でもなく、自宅でもない、患者や家族の生活の安心を支える居場所が非常に重要であり、神戸にマギーズ神戸として設置先のご検討が、相談支援センター以外にもがん患者の相談先の選択肢が増え、相談支援体制の拡充になると考へますが、当局の見解をお伺いいたします。

答 恩田副市長

マギーズ東京は、1996年にイギリスでがん患者の相談支援センターとして発祥したマギーズの国内唯一の施設として東京に2010年10月に開設を、病院とは異なる独立した建物で看護師等の専門職が患者家族等からがん等の相談に対してサポートを行っているものと承知しておりますが、運営主体が特定非営利法人であり、主にその収入は寄附金によって賄われていると承知をしております。

マギーズ東京のような施設を本市でも設置してはどうかというご質問ですが、整備運営を行っていただくような非営利法人等があるのかどうか、また寄附金を中心とする財源を将来にわたって確保できるのかという問題は問題があるというふうに認識しております。

本市としては、がん患者等の声もお聞きしながら、より多くの患者、家族等に安心して相談いただけるよう、まずはがん相談支援センターを中心とした相談体制の充実に努めていきたいというふうに考へております。

再質問

がんの支援体制の拡充ですが、一部の事例を紹介しますが、8ヶ月間つらい闘病生活を送る中で、相談できる仲間が欲しいと思つても病院生活を見つかりませんでした。友人が病院にお見舞いに来てくれたときは、元気、元気が大丈夫と笑顔で話すのですが、1人のときは死んじやうのかなと不安を感じて、孤独で眠れなくなりました。鬱病になったりもしたと、心境を話されています。加えて、治療と親の介護と子育てと大変なようです。

市内病院の今の相談体制は、それはそれで立派であります。NPO法人として寄附金で賄い、会費で賄い、しかも人材は先ほど申し上げました看護師さんや心理士、それとボランティアさん。このボランティアさんも非常に優秀な方がお集まりになられて、またそれを見た他のボランティアの方々も集まるといふことでした。私としては、神戸市が先般医療を含めて、ボーイ2期にはがんの研究や治療など優れた施設があります。この周辺には(仮称)マギーズ神戸として誘致する事で、精神的な安定と安らぎを与えたい。又ご家族も一緒に立ち寄り、心のケアも含めて話ができる施設として重要と考へており、国際的な認知も高い施設となります。

こういう施設が日本に一つ東京にあり神戸にもあれば、財源もそんなに要るわけじゃないと思います。是非ともボーイ2期の土地を提供し実現させたい。

現在、医療の進歩で入院期間も短く外来中心です。お医者さんに相談出来る時間も減り、疑問や不安を抱えたままで過ごす患者が少なくないという事です。改めて、予約なしで気軽に訪れて、無料で専門家に相談に乗ってもらえる施設が必要だと考へています。

答

恩田副市長

がん相談支援センター以外のそういったNPO法

人によります気軽に相談できる態勢とかということについては非常に有効なことだと思つておりますけれども、まずはこちらの神戸にどういったような形で一仮にですけども来ていただければいいかというふうなこともあると思つております。そういった方たちも少しお話をするとかいうことからいろいろと検討していきたいというふうに思つております。

要望

誘致に当たつては、運営や人材確保は大変かと思つていますが、多くの課題があつても積極的に取り組まれてもらいたい。

ウォーターフロントにおける水域活用について

新港突堤西地区の第1突堤基部では、フェリスモ本社の建設が進んでおり、また第2突堤においても事業者公募が開始されるなど、神戸港で新たなウォーターフロントが形成されつつあります。第1突堤と第2突堤の間の水域活用に関するサウンディング市場調査が実施され、スーパーヨットなどが係留できるマリナーなど、民間事業者から水域活用に関する様々な提案が寄せられています。

特に、スーパーヨットは、寄港地での食事や観光、船内への食材調達など、地域経済の波及効果も高く、国土交通省をはじめとする関係省庁においても受入れ拡大に向けた検討が進められており、また他都市でもスーパーヨット誘致に向けた取組がなされています。

そこで、神戸港将来構想として新港突堤西地区は、都心三宮に近い立地環境にあり、スーパーヨットを誘致したマリナーの導入が実現すれば、経済波及効果のみならず、新たなウォーターフロントの観光スポットとして、にぎわい創出にも寄与すると思つており、当局の見解をお伺いいたします。

答 久元市長

御指摘をいただきましたように、新港突堤西地区の再開発では、昨年度サウンディング市場調査を実施いたしました。まして、マリナー利用など様々な御意見も頂戴いたしました。

現在、防波堤などによる静穏度の確保の検討を進めております。また、陸上施設への相乗効果が大きいとの意見をいただきました。また、マリナー活用可能性として、大阪ベイエリア内など近隣のマリナーの実態把握や国内外におけるスーパーヨットの動向などの調査、諸課題の整理を進めてまいります。

マリナー施設の導入を含む新港第1、第2突堤間水域の新たな活用に向けた活用が前提と考へております。同様に民間営業者の活用を促進するためには水域の長期貸付け可能な制度設計が必要と考へております。

また、フェリーや遊覧船などが航行する構内における水域利用となることから、今後具体化を進める中で海上保安庁をはじめ、海事関係者と航行安全面での議論も必要となります。

再質問

市長にお答えをいただいたマリナー整備についてですが、横浜をはじめ各都市も手を挙げています。多くの事業者の方々、マリナーの整備で神戸ももっとも活況づくだろうと思つております。マリナー導入に当たっては、ハード面としては防波堤の整備、遊歩道の整備、メリケンパークとの回遊性の強化、スーパーヨット等の係留施設や駐車場、クラブハウ

ウス、加えて、海外からのスーパーヨットで入国するためのC-IQに関する整備など、課題も多くありますが、いずれもできれば2025年大阪万博に合わせ、スーパーヨット誘致に取り組み、経済波及効果を図るべきと考へますが、再度お伺いいたします。

答 油井副市長

市長から答弁をいただきましたように、将来構想におきましては、1突と2突の間水域利用を進めるといふことで位置づけしております。その中で、仮にマリナーを活用する場合には、係留施設などのハード整備から施設の運営まで、経営の観点を含めて民間事業者が自らの判断をもって実施していただくことを考へております。まずは水域活用にあつては様々な課題、先ほど議員からありましたC-IQの手続の問題とか、また、防波堤の話も出ましたけど、遮音性の確保の問題、いろんな課題がございます。また、既にフェリーとか遊覧船が航行するエリアでの水域活用ということで、やはりその関係者もたくさんおりますので、そういった関係者とも調整しながら、神戸市としては民間が進出しやすいような環境を整備して、そういう形に近づけていきたいというふうに考へております。

要望

ウォーターフロントにマリナー誘致を！

このマリナーを誘致出来ればスーパーヨットを見学に来る人などで観光スポットにもなります。関係者から神戸港がマリナーの導入による拠点となれば他港と比べてもポテンシャルは高い。拠点になれば、淡路ももちろん、多方面にヨットに乗って楽しむことが出来ると思つております。それが、マリナーには他の船もたくさん係留しています。したがって、契約等も長くして、民間営業者という大前提の中ですら、かなりのお金をかけるには、台風対策も含めて防波堤も必要になります。都心部のど真ん中に豊かな施設がマリナー経営としてあるということ、神戸市民にとつても関西をはじめ多方面から来られる方々にも楽しんで頂きます。また国際会議やビジネスジェットの利用など、マリナーと神戸空港の活用も一体となつてきますので、非常に高いポテンシャルを持つている神戸港でございますので、マリナー誘致による経済波及効果が積極的に取り組んで頂きますよう要望しておきます。

須磨ヨットハーバーのさらなる活用について

現在、須磨海岸を中心としたエリアでは、海岸の整備や須磨海浜水族園のリニューアルなどを進められ、このような四季を通じたにぎわい、健全な地域づくり、須磨海岸に隣接する須磨ヨットハーバーを活用し、青少年が海と親しむ海洋スポーツなどのプログラムを取り入れることも必要と考へております。

一方、須磨ヨットハーバーの北ハーバーは、係留施設の老朽化が進み、係留施設としての使用を中止していると聞いております。現在、須磨ヨットハーバーとB&G財団が連携し、神戸海洋クラブとしてスタートしており、子供たち500名以上が参加し、カヌーやシーカヤック、SUPなどを通じて海洋教育や親子プログラムとして活動されています。

そこで、この古い北ハーバーを整備することで青少年育成のための海洋フィールドとしての活用拡大を図るべきと考へますが、当局の見解をお伺いいたします。

油井副市長 答 答弁をさせていただきます。議員御指摘のとおり、現在ヨットハーバーの指定管理者が独自事業として、昨年度からヨットハーバーや須磨

海岸におきまして、SUPやカヌーなど、B&G財団の支援を得ながら青少年が海に親しめるプログラムを実施しているところがございます。市民が海に親しみや興味を持っていただくことで、四季を通じてにぎわいづくりに、また健全な地域づくり、将来の海人材の育成など、様々な波及効果があるものと考えており、有意義な活動として期待しております。

現在の北ハーパーの状況でございますけれども、施設の老朽化などによりまして、平成28年度末に海上の係留機能の使用を全面的に中止していただいております。一方、北ハーパーは、構内の水温が高く、初心者や小さな子供たちが海洋スポーツを体験する場として適した環境を有しているところもござります。

指定管理者が行っておりますB&G財団の活動におきまして、プログラムの一部で活用されているというふうな承知をしております。須磨ヨットハーバーの再整備につきましては、北ハーパーの活用も含めまして、大きな課題であると認識しております。活用によつては、須磨海岸一帯の活性化にも資するものと考えております。

今後、須磨海岸エリア全体の再整備のスケジュールに合わせ、青少年育成のためのフィールドとしての活用も含めまして、様々な角度から検討を進めて参りたいと考えてございます。

**再質問** 須磨のヨットハーバーのことでお伺いしますが、北ハーパーの活用拡大を図るためには、古い係留施設の一部撤去を行うことが必要です。現在、狭いところで子供たちは練習を行い教育プログラムとして今学んでいます。

また、周りの塀等の環境や艇庫等の整備もされたい。引き続き、活用していく為にも、今後には須磨水族園もリニューアルされますので、海洋レジャーゾーンとして、須磨海岸一帯の整備の1つにぜひ加えて頂き、景観にも配慮したことも検討の課題とするよう整備をされたいかどうか。

**答** 油井副市長

現在、北ハーパーを含めまして、須磨ヨットハーバーの再整備の方向性につきましては、水族園の再整備事業者であるとか指定管理者の意見を聞きながら検討を進めていただいておりますけれども、北ハーパーにつきましても、須磨エリアの方向、一番東端に位置しておりまして、また、高架道路によって視覚的とか物理的にもちよつと分断感があることから、やはり回遊性や、またその景観についても配慮しながら検討をさせていただきたいというふうに考えてございます。

**要聖** マリンアカデミーに支援を！

御存じの世界的な規模でありますB&G財団の皆さん方が教育プログラムとしてマリンアカデミーとして、既に海洋クラブとして神戸はスタートしています。夏の海水浴とかその他ビーチパレーなどは皆さん御理解されていますが、こうした古い施設をうまく活用しておられる現状を見たときに、申し訳ないなと、もつと早く整備しておれば、マリンアカデミーがもう少し広まり、子供たちの海洋教育というものが、神戸はしっかり取り組んでいこうというのをB&G財団も含めて御理解いただけたらと思います。又、将来的な学校と連携した年間型の海洋教育実習ということも考えておられます。指定管理者は自ら施設を改修して、既に実施されている団体でございます。是非とも現場をしっかりと見ていただき、油井副市長先頭に立つて整備にお力添えをいただきますようお願いしております。

# 令和3年度 当初予算案 主な新規・拡充事業（一部抜粋）

## 市内事業者等への支援

- **新規** 家賃負担軽減緊急一時金（家賃サポート緊急一時金）  
《1,400,000千円（うち2年度2月補正 1,400,000千円）》  
緊急事態宣言発出に伴う営業時間短縮や外出自粛要請等の影響により、売上が減少している市内中小事業者の事業継続を支援するため、市内で事業のために賃借している建物の家賃相当額1か月分の1/2（最大50万円）を一時金として支給
- **新規** 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金  
《1,141,602千円（うち2年度2月補正 1,141,602千円）》  
兵庫県と連携し、営業時間短縮の要請に応じた事業者に対して、1日6万円の協力を支給
- **新規** 事業者によるにぎわい・魅力発信活動支援事業《10,000千円》  
小売業、飲食業、サービス業等を営む複数の商業事業者によるグループが実施する街バル等のにぎわいにつながる活動に対して支援

## 健康づくりの推進・医療の充実 7億500万円

- **拡充** こども医療費助成制度の拡充《61,095千円》  
入院医療費無料の対象を高校生世代まで拡大（R3.10月開始予定）
- **新規** がん患者のアピアランスケア支援事業《12,960千円》  
がん治療の副作用による脱毛等に対応するためのウィッグ等の購入を支援

## 介護・障害者施策の充実 3億8,800万円

- **新規** 介護・障害福祉サービスの働きやすい職場づくり《36,410千円》  
介護・障害福祉サービス事業所におけるICT導入支援  
介護ロボット等開発・導入促進  
介護施設職員の医療的ケアを行うための資格取得にかかる代替職員確保を支援
- **新規** 外国人介護人材の受入れ促進《8,000千円》  
外国人介護人材の日本語学習や介護福祉士資格取得を支援  
研修受講にかかる代替職員確保を支援

## くらしの安心・安全を守る 11億1,200万円（うち2年度2月補正 3億800万円）

- **拡充** 防犯カメラの設置拡充《461,428千円》  
小学校通学路や主要駅周辺等に防犯カメラを設置（R3年度：約1,150台）

## 陸海空の広域交通結節機能の強化 253億100万円（うち2年度2月補正 44億8,500万円）

- **拡充** 国際コンテナ戦略港湾の推進  
《11,095,500千円（うち2年度2月補正 1,413,300千円）》  
高規格コンテナターミナルの整備  
コロナ禍における新たな物流ルート構築支援（アジア広域集貨促進事業）  
ハーバーハイウェイのETC整備  
在来貨物定期航路の誘致
- **ポートアイランド・神戸空港へのアクセス向上（一部再掲）**  
《2,175,800千円（うち2年度2月補正 1,000,000千円）》  
生田川右岸線の機能強化（片側直進2→3車線化、交差点改良）  
神戸空港連絡橋4車線化  
ポートライナー三宮駅ホーム拡張  
神戸空港行きバス（約30便/日）、中央市民病院行き無料バス（10便/日）  
ポートライナー混雑緩和アプリの運用  
神戸空港へのアクセス強化に関する調査・研究

## ウォーターフロント地区の魅力向上 52億8,200万円

- **拡充** ウォーターフロント地区の再開発《4,883,000千円》  
新港第1・第2突堤間の水域活用及び次期再開発の事業化推進  
中突堤周辺地区の再整備の推進（ポートタワーリニューアル等）  
ウォーターフロント回遊性向上に向けた調査・検討  
新会社設立による官民連携の取組み強化
- **新たな公共交通システムの導入（再掲）**《50,000千円》  
BRT・LRT導入検討（R3.4月～連節バス運行開始）
- **ウォーターフロントの賑わいづくり**《349,000千円》  
メリケンパークの賑わいづくり（ARの活用や夜市・イルミネーションイベントの開催、神戸海洋博物館の運営等）  
新しい分散型花火イベントの開催

## 市内産業の活性化 23億3,900万円（うち2年度2月補正 3億4,000万円）

- **市場機能の強化**《1,364,000千円》  
本場施設の再整備（冷蔵庫棟・加工場等の移転整備に向けた埋立工事等）
- **新規** 新たな産業用地の供給《170,000千円》  
西神戸ゴルフ場の転活用にに向けた調査
- **新規** 事業者によるにぎわい・魅力発信活動支援事業（再掲）《10,000千円》  
小売業、飲食業、サービス業等を営む複数の商業事業者によるグループが実施する街バル等のにぎわいにつながる活動に対して支援

## 学びの環境整備 101億8,600万円（うち2年度2月補正 29億500万円）

- **新規** 温かい中学校給食の推進《33,000千円》  
全員喫食制に向けた調査検討  
保温食缶を活用した温かい給食の提供
- **拡充** GIGAスクール構想の推進（再掲）  
《2,317,247千円（うち2年度2月補正 71,158千円）》  
市立小中学校における1人1台PCを活用した授業・家庭学習の推進  
市立高校における低所得者世帯へのPC貸与  
デジタル教科書の導入  
GIGAスクール支援員の配置

## 子育て世帯の経済的負担の軽減 14億9,200万円（うち2年度2月補正 1,300万円）

- **拡充** こども医療費助成制度の拡充（再掲）《61,095千円》  
入院医療費無料の対象を高校生世代まで拡大（R3.10月開始予定）
- **中学校給食の保護者負担軽減**《330,000千円》  
全世帯の給食費を半額に引き下げ（年間約5万7,000円→2万8,500円）
- **拡充** 結婚新生活支援事業の拡充《135,911千円》  
年齢要件を夫婦共に34歳以下から39歳以下へ拡大（引越費用等上限30万円）

## 保育定員の拡大・保育人材の確保策の充実 47億8,700万円（うち2年度2月補正 6億9,700万円）

- **拡充** 保育人材確保・定着への支援《1,240,758千円》  
一時金の増額（R3～4年度新規採用者を対象に7年間で最大170万円に拡充）  
宿舍借上げ支援の拡充（R3～4年度市外転入新規採用者を対象に最大10万円/月に拡充）  
奨学金返還に要する費用の補助（7年間で最大42万円）
- **拡充** 保育士等の負担軽減《187,483千円》  
登降園管理・午睡チェック等のシステム導入、多言語翻訳機購入にかかる経費の補助などによりICT化を推進

# 令和3年度 当初予算案 主な新規・拡充事業（一部抜粋）

## 名谷駅周辺のリノベーション

85億59万円

- **継続** 名谷駅ビルのリニューアル・駅ビル北館の整備（560,955千円）
  - ・駅ビルのリニューアルに合わせて、駅北側にビルを新設し、一体的な運営により機能を拡充する。
- **継続** 名谷図書館開設（113,506千円）
  - ・令和3年3月24日に開館する名谷図書館の運営費等
- **新規** 北須磨文化センターのリニューアル（65,131千円）（再掲）
  - ・トイレや空調設備などのアメニティの向上、施設内スペースのリノベーションに合わせた学習室の設置を検討するなど、施設の充実を図る。
- **新規** 駅北側ロータリーの改修（40,000千円）
  - ・駅北側ロータリーにおける一般車両の利便向上・高質化のため、改修に向けた検討・設計を行う。
- **新規** 北須磨支所の移転（20,000千円）
  - ・北須磨支所と保健福祉課事業室を合わせて新ビルを建設し、支所機能を一体化する。
- **継続** 落合中央公園のリノベーション（30,000千円）
  - ・親子をターゲットに、シンボルとなる大型遊具の設置や自然体験の場の確保など、子供の遊び場拠点となるリノベーションを行うための設計を行う。また、駅からのアクセス改善に向けた検討を行う。
- **継続** 駅前の広場空間の利活用（6,000千円）
  - ・駅前の広場空間において、マーケットの開催や、キッチンカー等の飲食を伴った賑わい等、様々な体験の場として活用することで、滞在したくなるような空間を創出する。
- **新規・継続** 神戸名谷ワークラボ Aozora の改修（15,000千円）
  - ・施設の利便性を向上させるため、スロープの設置や駐輪場整備などを行う。
- **継続** 買い物広場のリニューアル（OMこうべ：100,000千円）
  - ・商業施設の中心である買い物広場をリニューアルし、更なる賑わい創出を図る。

- **継続** 新立体駐車場の整備（OMこうべ：790,000千円）
    - ・住宅供給等の事業用地生み出しに向けて、新立体駐車場の建設等の駐車場再編を進める。
- ## スポーツ振興
- 33億6,800万円（うち2年度2月補正 2,900万円）
- **東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業**《175,013千円》
    - ・オリンピック聖火リレー・パラ聖火フェスティバルの開催
    - ・ホストタウン関連事業の実施（事前合宿受入れ）
  - **ワールドマスターズゲームズ2021関西の神戸開催準備**《50,277千円》
    - ・神戸開催6競技の開催準備及び各種プロモーション活動（R4.5.13～29に延期）
    - ※神戸開催6競技：陸上競技（競歩）、野球（硬式野球）、バスケットボール、オリエンテーリング（スプリント）、水泳（競泳）、卓球
  - **神戸2022世界パラ陸上競技選手権大会の開催準備**《105,664千円》
    - ・大会実施に向けた各種運営計画の策定、プロモーション活動等開催準備の推進
- ## 市民サービスの向上
- 66億9,500万円
- **新規** 行政施設の機能強化（再掲）《5,689,359千円》
    - ・西区庁舎の移転・開設（R3年度開設予定）
    - ・玉津支所の整備（R3年度暫定窓口開設予定、R4年度改修工事、R5年度本設窓口開設予定）
    - ・新中央区総合庁舎の整備（R4年度前半供用開始予定）
    - ・北須磨支所の移転（移転場所：名谷センタービル西隣、R3～6年度設計・工事、R6年度供用開始予定）
  - **新規** 大型ごみの持ち出し支援・手数料納付キャッシュレス決済の導入《12,511千円》
    - ・要介護・要支援認定者、障がい者のみで構成される世帯を対象に、宅内からの持ち出し支援をモデル実施（有料）
    - ・インターネットを利用した申込み時の手数料についてキャッシュレス決済を導入

## 《活動の中から》住民主体の多くの声を必ず市政に反映します。

### ＜予算要望する松本市議＞



自民党 関芳宏衆議院議員と共に

### ＜外国人介護人材支援について取り組む松本市議＞



介護人材不足に対応するため大山オーナーさんとネパールからの介護技能実習生を激励する

### ＜地元要望を実現する松本市議＞



武蔵谷公園に新設された公衆トイレを前に喜ぶ管理会代表の大釜さんと女子軟式野球（オール兵庫）の皆さんと共に

### ＜神戸市消防局長に要望する松本市議＞



消防関連広報誌「雪」の廃刊による今後の在り方について愛好家の方と共に意見交換する

### ＜社会人野球に貢献する松本市議＞



第77回全神戸選抜軟式野球大会で優勝した（株）後藤回槽店に優勝旗を授与する神戸軟式野球協会会長の松本しゅうじ市議（神戸総合運動公園・サブ球場にて）

### ＜コロナ禍での青少年育成活動に取り組む＞



第38回全日本少年軟式野球兵庫県神戸大会で優勝した神戸市立王塚台中学野球部に優勝旗を授与する松本市議・神戸軟式野球協会会長（あじさスタジアムメイン球場にて）



チャレンジカップ第6回学童軟式野球大会で優勝した花谷少年野球部に優勝旗を授与する松本市議（神戸軟式野球協会）

### ＜コロナ禍での防災コミュニティ防災訓練を視察＞



感染症防止対策を行い時間短縮と参加者を限定した取り組みを視察する花谷防災訓練に参加する松本市議

### ＜「須磨のり」の生産工場を視察する松本市議＞



海水の栄養塩豊富な漁場とする為の水産研究者との調査等、好循環の必要性を森本須磨浦漁業組合長に聞く

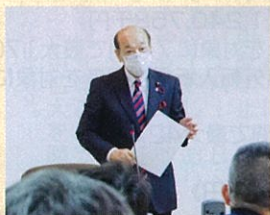


高野山旗学童軟式野球大会で優勝した灘西レイダース野球部に優勝旗を授与する神戸軟式野球協会会長の松本市議（神戸総合運動公園・サブ球場にて）



チャレンジカップ第6回学童軟式野球大会で優勝した花谷少年野球部に優勝旗を授与する松本市議（神戸軟式野球協会）

## プロフィール 松本しゅうじ(周二)



特別委員会で質疑する松本しゅうじ市議

### 経歴

近畿大学商経学部卒業  
衆議院議員秘書  
(公設第一秘書含む17年間)  
自治大臣秘書  
国土庁長官秘書

神戸市議会議員・七期連続当選  
神戸市監査委員  
港湾交通委員会委員長  
文教経済委員会委員長  
福祉環境委員会委員長  
大都市税財政特別委員長  
自民党兵庫県連地方行政対策副委員長

### 現在の主な役職

法務省須磨区保護司  
神戸軟式野球協会会長  
(社団法人)くすの木保育園理事  
神戸市スポーツ教育協会評議員  
近畿大学校友会常任幹事  
市若宮小学校同窓会役員  
神戸・軟式少年野球部顧問  
兵庫県軟式野球連盟副会長

兵庫県宅地建物取引業協会  
神戸西支部顧問  
神戸市茶花道会顧問  
地元自治会顧問  
地元防災福祉コミュニティ顧問  
地元ふれまち協議会顧問  
日本ケミカルシューズ工業組合相談役  
地元・市場商店街顧問  
その他顧問団体多数